

町政を問う!



広田清晴 議員

子どもたちの貧困化問題は

問 子どもの貧困についての認識と対応について質問する。

答 子どもの貧困とは、子どもを持つ家庭が社会において当たり前と言われていることをするのが困難な生活水準にあることから、子どもたちがきちんとした食事ができていない、病院に連れて行ってもらえていない等の状況にある。

国の調査では6人に一人が貧困の状況となっている。

平成27年度より設置した主任相談支援員による就労支援、要保護・準要保護児童就学援助など生活・経済・教育支援を行っている。

子どもたちは島の宝



子どもたちがその生まれ育った環境に左右されることなく夢と希望をもって健やかに成長していけるよう、今後も子育て支援策を検討する。

保育料の父母負担の軽減を2子以降完全無料化実現を

問 子育て支援の立場から「第

2子保育園同時入所無料の制度」を、同時入所の枠を取り払い、2子の場合の保育料全て無料になるよう軽減対策を求める。

答 町としても、子ども子育て支援の充実は少子化対策定住対策における重要課題の一つであると認識しているが、同時入所枠をとり、第2子以降の保育料を無料化するには、恒久的な財源確保の見通しが必要なので、慎重に検討する。

中学校一校統合は急ぐ必要なし

問 中学校一校統合はアンケートの結果からみても更に慎重な取り扱いが必要。昨年教育委員会が行った中学校統合問題アンケートの結果をみると興味深い結果を示している。親たちの意見、子どもたちの意見は「中学校統合に否定的意見が半数である」この声を大事にすることが重要。

答 学校運営協議会・教職員は合併賛成65.8%及び54.7%と賛成意見が多く、保護者は賛成47.9%に対し反対48.4%と拮抗生徒は反対が66.7%と反対意見が多かった。

要望 アンケート結果はまさに「中学校統合は急ぐ必要なし」を示している。統合問題を論じるより、まだ先に教育委員会としてやる必要がある。そのことを議論すべき。

